

決算審査特別委員会 249億円を探る

9月20日から22日までの3日間、決算審査特別委員会(委員長 熊谷 初男)が開催され、付託された22年度各会計決算を審査し、26日の本会議で委員会報告のとおり全会計249億円の決算を認定しました。

滝沢らしさを創りだす活動を進めます

主な事業

(千円以下切り捨て)

- 滝沢ブランドの創出
- 物産振興事業 177万円
・村の物産及び産業等を紹介することにより、村民の理解と認識を高め、生産の奨励及び販路の拡大を図り、村内の産業振興に資することができました。
- 滝沢ブランド推進事業 285万円
・平成21年度より滝沢村観光協会職員を1名雇用して滝沢村のブランド価値を高めることを目的に実施しました。
- 滝沢ブランド販売促進事業 110万円
・「いわて銀河プラザ」において物産展を開催し地域産品の販売促進を図りました。
- 滝沢ブランド推進戦略調査検討事業 81万円
・滝沢村の特産品及び特産物を全国的にPRし、認知度を高め、6次産業として確立させ「滝沢ブランド」を普及推進するための戦略を調査検討しました。
- チャグチャグ馬コ馬資源確保事業 195万円
・村内の農用馬飼育頭数の減少傾向に歯止めをかけ、チャグチャグ馬コの里滝沢村を維持していく為に「校伯」を飼養し、伯鈴を出産し増頭を行いました。また、村イベントにチャグチャグ馬コとして参加しPRを行いました。
- チャグチャグ馬コ資料収集・伝統継承事業 161万円
・過去のチャグチャグ馬コの写真収集や資料の整理を行い、今までの経緯を今後に残すことで馬事文化の伝承に寄与できました。
- チャグチャグ馬コ広報宣伝事業 393万円
・滝沢村は県内有数の馬産地となっておりますが、県内では知名度が低く、またチャグチャグ馬コ行進事業は年1回と誰でも気軽に見られる行事ではなくなっています。そこで、県内の小中学校や福祉施設等に出前訪問を行ない「チャグチャグ馬コの里滝沢村」をPRすることができました。

- 絆で繋がる地域コミュニティ
- 滝沢地域デザイン推進補助事業 172万円
・21世紀前半の地域整備計画である滝沢地域デザインの推進のため、各地域まちづくり推進委員会の事業を支援するとともに、地域住民の事業企画力・実践力・課題解決力の向上を図りました。
- 交流拠点複合施設整備事業 41万円
・滝沢村交流拠点複合施設に関し村の構想をまとめ、その内容を周知することにより、複合施設の必要性を地域に浸透させることを目指しました。同時に、計画地に関する資料を作成しながら、基本計画・設計の手法を検討しました。
- 地域活動支援事業 192万円
・滝沢村地域活動推進員配置することにより、自治会やまちづくり推進委員会の支援が図られました。また、本村には存在しない地域づくり団体等を支援する組織の研究を行いました。

- 信頼される行政活動
- 重点政策啓発推進事業 165万円
・総合計画における重点政策である「滝沢らしさの確立」、「若者定住」、「食育」を推進するため、村内外へのPR活動を実施しました。
- 総合計画マネジメント事業 154万円
・第5次総合計画の基本構想・後期基本計画・実行計画の日常的な進捗管理、定期的な地域社会調査、評価制度の検討などのマネジメント事業を展開し、将来像達成へ向けた全庁の取り組みの支援を行いました。

22年度主要工事等を現地調査

全員協議会では9月16日に決算審査特別委員会の審査に先だち現地調査を行いました。



姥屋敷小中学校特別教室棟改築事業
(特別教室棟 132.49㎡ 1,459万円)



畜産担い手育成総合整備事業
(相の沢牧野通年預託施設 9,155万円)



基幹水道施設整備事業
(水源地の整備など 2億8,498万円)



岩手県立大学周辺産業集積整備事業
(仮称) IPUイノベーションパーク 6,684万円)



放課後児童健全育成施設整備事業
(ひかりの森学童クラブ 160.72㎡ 1,446万円)



巣子駅地区まちづくり事業
(1億1,844万円) ※21年度からの繰越事業



交通安全施設(歩道)整備事業(柵宜屋敷線)
(3,574万円)



認定子ども園整備補助事業
(ふじなでこ幼稚園・保育園 2,161.77㎡ 1億6,714万円)